



## アイヌ語の地名

### 帯広市 オペレペレケツ「川尻が分かれ分かれする川」

昔は十勝川に入る河口の所がたくさん枝分かれしていたと考えられています。

#### ■売買川

はっきりした意味はわかりませんが、次の2説があります。

1. ウエカリブ「(とった魚などの) 集め場所」
2. ウレカリブ「足を回した所」

#### ■十勝幌尻岳 ポロシリ「大きな山」

この山は十勝でも日高でも神が住む山と考えられていて、頂上近くにはカムイトー「神の沼」という沼があると信じられていました。

### 音更町 オトツケ「髪の毛の所」？

はっきりしたことはわかりません。

#### ■鎮鍊川 チンレルコマブ

「動物の皮を干す道具の向こうのところにある川」

### 士幌町

よくわかりませんが、次の説があります。

1. スホロベツ「なべを水につけた川」 2. シホロカベツ「本当のホロカ川」

#### ■居辺 ウルベツ「丘の川」

よくわかりませんが、ウルベツかもしれません。

### 上士幌町

士幌川の上流にあるのでこの名が付けられました。

#### ■ナイタイ川

よくわかりませんが、次の説があります。

1. ナイタクベ「チョウザメ」
2. ナイエタイエベツ「沢の頭がずっと奥へ行っている川」

#### ■糠平 ノカピラ「形のある崖」

### 鹿追町 クテクウシ「鹿とり柵のあるところ」

#### ■然別川 シカリベツ「回っている川」

#### ■ヌブカウシヌブリ ヌブカウシヌブリ「野の上にいる山」

### 新得町 シットク「ひじ」

川の曲がったところや山がとび出たところをさしています。

#### ■新内 ニウンナイ「木がある川」

#### ■トムラウシ山 トンラウシ「水草のあるところ」

トンラは温泉の流れ込む川底にある水草のようなものです。このような名前がつけられたある特定の場所が、山全体の名前になったのでしょうか。

### 清水町 ペケレベツ「水がきれいな川」

アイヌ語の訳に漢字を当てはめた地名です。

#### ■人舞 ニトゥオマブ「寄せ木がある川」

#### ■熊牛 クマウシ「物干しがたくさんあるところ」

### 芽室町 メムオロベツ「わき水のところの川」

#### ■美生 ビバイロベツ「カワシンジュガイが多いところ」

#### ■ビウカ川 ビウカ「小石の河原」

### 中札内村

札内川の中流にあるのでこの名が付けました。

#### ■コイカクシサツナイ岳 コイカクシサツナイ「東を通る札内川」

もともとは川の名前でしたが、それが山に付いたものです。

#### ■ピョウタン ビオタウン「小石と砂がある」

### 更別村 サルベツ「アシ原の川」

昔は十勝川に入る河口の所がたくさん枝分かれしていたと考えられています。

#### ■イタラタラキ イタツタルケイ「そこが踊り踊りするところ」

ここは湿地だったので、歩くと地面がぐらぐらするから名付けられたという説や、川に波が立つので名付けたという説などがありますが、よくわかりません。

#### ■勢雄

よくわかりませんが、アイヌ語だとすればセイオ「貝がたくさんある」、セイオイ「貝がたくさんあるところ」と考えられます。

### 大樹町 タイキウシ「ノミがたくさんいるところ」

#### ■歴舟川 ベルブネイ「水が大きい川」

#### ■神威古潭 (かむいこたん) カムイコタン「神の村」

### 広尾町

次の説があります。

1. ピロロ「陰のところ」 2. ピオロ「石のところ」
3. ビルイベツ「と石の川」 4. ピラオロ「崖のところ」

#### ■野塚 ヌブカベツ「野の川」

#### ■楽古 ラクコベツ「ラッコの川」

ラッコは広尾の水族館でも飼育されている海の動物のことです。

### 幕別町 マクンベツ「後ろにある川」

昔は十勝川に入る河口の所がたくさん枝分かれしていたと考えられています。

#### ■止若 ヤムワクカピラ「冷たい水がある崖」

#### ■白人 チロットー「鳥が多くいる沼」又はチリロットー「鳥が座ってる沼」

#### ■札内 サツナイ「乾く川」

この川は冬になると戸蔭別川から上流がかわってしまうので、このように名付けられたと伝えられています。

#### ■旧忠類村 チウルイトーブイ「流れの激しい当縁川」

このチウルイに漢字をあてはめたものです。

#### ■当縁川

次の説があります。

1. トーブイ「沼の穴」 2. トーブチ「沼の口」

#### ■幌内 ポロナイ「大きい川」

### 池田町

明治29年に池田牧場が作られたところからこの名が付きました。昔はセイオロサム(貝殻のところのそば)と呼ばれていました。

#### ■利別川 トウシベツ「縄川」？

はっきりしたことはわかりません。

#### ■千代田 チエオタ「私たちが食事をする砂場」

### 豊頃町

豊頃町のどこかにあった地名から付けられたのですが、意味はよくわかっていません。

#### ■大津

次の説があります。

1. オオホツナイ「深い川」 2. オホウツナイ「深い枝川」

#### ■茂岩 モイワ「小さい山」

### 本別町 ポンベツ「小さい川」

#### ■勇足 エサンピタラ「頭が前の方に出ている川原」

エサンピタラという発音に「勇足」という漢字をあてはめましたが、読みにくいので、「ゆうたり」と呼ぶようになりました。

#### ■美里別 (次の説があります)

1. ビリカアンベ「美しくある水」 2. ビリベツ「渦の川」

### 足寄町 エショロベツ「沿って下る川」

釧路の方から阿寒を越えてくると、この川に沿って十勝や北見に出られたのでこのように名付けられたと言われています。

#### ■カムイロキ山 カムイエロキ「神様が座っていらっしゃる場所」

このような名前が付いている所は、神様がいらっしゃる場所として大切にされました。

#### ■大誉地 オイオチ「川尻にヘビが多くいる川」

### 陸別町 リクンベツ「高いところにある川」

#### ■斗満 トナム「湿地」

#### ■小利別 ポントウシベツ「小さい利別川」

### 浦幌町

いくつかの説があります。

1. オラフオロ「ヤマシヤクヤクのところ」 2. ウラルポロ「霧が多い」
3. ウライポロ「魚をとるための仕掛けが多い」

#### ■厚内 アブナイ「釣針の川」

#### ■昆布刈石 コンブカルウシ「昆布をいつもとるところ」